

# 公立短大進学

一口メモ

## 2年制大学の種類

**私立... Junior College (ジュニア・カレッジ)**  
全米でおよそ1400校ある短大のうち、280校にあたる私立の短大。

**公立... Community College (コミュニティ・カレッジ)**  
残りの大部分を占める公立の短大。もともとは地域の住民の成人教育を目的とした教育機関。

上記のように私立と公立の2種類がアメリカの短大にはあるが、費用が安く、目的に応じた2種類のコースを選択できるといった利点で、ほとんどの短大留学生は公立短大へ進学する。ここでは公立短大(コミュニティカレッジ)のみをピックアップしてみました。

## 特徴 2つのプログラム

### 大学進学プログラム

一般教養と専門科目を履修し、通常なら2年間で準学士号 (Associate Degree) を取得できる。このプログラムに在籍しているのは、将来4年制大学に編入を考えている学生が多い。

ここで取得した単位は、4年制大学2年間分の一般教養に代替できる場合が多い。

### 職業訓練プログラム

実用的な専門知識や技術を身に付け、卒業後の就職に備えるコース。日本でいう専門学校に最も近いプログラム。選考方法によっては準学士号が取得できるものと、終了証だけのものがある。4年制大学への編入も可能だが、一般教養の2年間分に代替することは難しい。編入する場合は2年生への編入になることが多い。

### コミュニティカレッジのメリットは？

- 入学基準があまり厳しくない
- 授業料が安い
- 4年制大学への編入ができる

4年制大学進学プログラムと職業教育プログラムのどちらかを選択できる。Degree Courseを卒業するとAssociate Degree(準学士号)が取得できる。4年制大学に比べて楽に入学できるうえ、費用も安い。また、4年制大学を希望している人も直接入学するより短大をステップとして編入するといった形をとったほうが有利な場合がある。小クラスが多く、教授陣はよく面倒をみってくれる。授業の内容が易しく基本的。



## コミュニティカレッジ進学の条件

**GPA** 2.0以上

**TOEFL** 450点以上  
(学校により異なる)

**授業料** \$ 3000~ \$ 6000  
州や学校によって違いがあります。

# 条件付入学

一口メモ

## 条件付入学制度って？

条件付入学 (Conditional Acceptance) は、その大学に付属している ESLプログラムや他の大学の ESLプログラム、私立英語学校での英語研修プログラムを受講し、大学の TOEFL基準をクリアする程度の英語力を身につけることを条件に入学を許可する制度。

## 条件付入学条件

基本的には条件などはないが、高校の成績証明書、残高証明書などの提示が求められる。

## 特徴 英語力が足りない人のためのプログラム

入学基準の学力はあるのに TOEFLの点数が足りない……。そんな人のためにあるのが条件付入学制度。この制度を利用している大学は現在約100校ある。

学生の中には、条件付で渡米してその大学で英語コースだけを受け、その後は他の大学に進学してしまうという人もいる。それでも大学側からみれば、英語コースに在籍させることに経済的意味があるし、そのまま同じ大学に進学してくれる可

能性も高いということで、このシステムを採用している。

ちなみに、この制度を持つ大学のほとんどはランクでいえば中程度。条件付入学を採用している有名大学はまずないと考えていい。



## 条件付入学のメリットは？

条件付入学は大学留学を前提としているため、語学留学よりビザの期間が長く取れる可能性が高い。

英語力さえ身につけば、入学手続きもスムーズに進む。

現地の環境や生活に慣れてから、大学生活を始められる。

目標を定めた上で語学研修が受けられ、語学学習に専念できる。

最初は語学学校への留学と変わらないが、条件付入学は大学留学を前提としているので、語学留学より可能性が高い。また、英語力さえ身につけば、入学手続きもスムーズに進むという利点があり、仮入学が決まってから英語の力を伸ばすことに専念できるので、精神的な負担が軽い。

しかし、ここで忘れてはならないのが、条件付入学は、あくまでも英語力が規定のレベルに到達したら入学できるという制度なので、英語力が身につかなければいつまでも学部入学はできないということだ。